

取扱説明書 Ver 1.00

SD-651 / SD-651-IV

65周年記念

トレイルトリッパーPro.1 / アイボリー



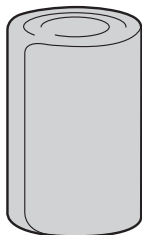
65周年記念トレイルトリッパーPro.1



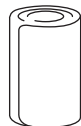
65周年記念トレイルトリッパーPro.1アイボリー

この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用のテントです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

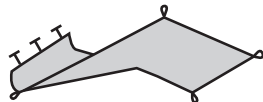
セット内容 ※ご使用の前に、付属品が全て揃っているかを確認してください。



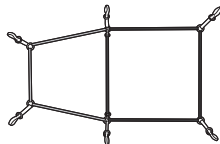
フライシート



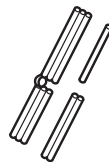
インナーテント



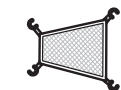
グラウンドシート



ビルディングテープ



本体クロスフレーム(×1)
サイドフレームA(×1)
サイドフレームB(×2)



メッシュギアハンモック×1



ジュラルミンペグ
(17cm×16)



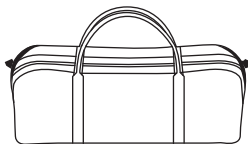
自在付ロープ
(2m×4)



シームグリップ剤
×1



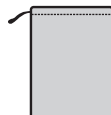
リヘアパイプ
×1



キャリーバッグ



フレームケース×1



ペグケース×1



取扱冊子×1

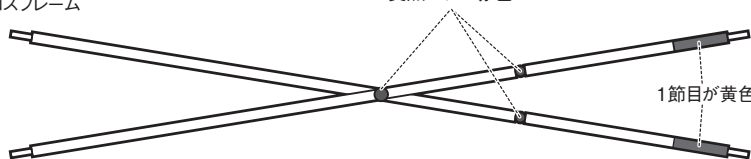
□セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携帯することをお勧めします。

※本体クロスフレームは、組立を補助する為、一部に曲げ加工を行っております。

フレーム構成

本体クロスフレーム

交点ハブが赤色



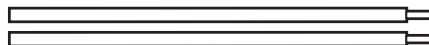
1節目が黄色

サイドフレームA

先端部が緑色

先端部が緑色

サイドフレームB



安全上の注意事項 ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- このテントの素材は難燃性ではありません。テント内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などの恐れがあり大変危険です。
- テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候によりテント内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



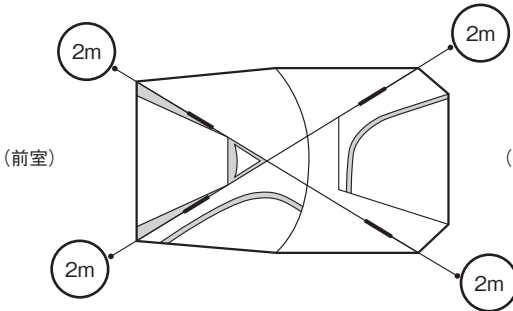
⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。テントの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりテントの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- 樹液が付着するときれいに除去することができません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。シンナーやベンジン等の有機溶剤により無理に除去しようとすると生地やコーティングを痛めてしまいますのでおやめください。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう生地とフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返し等で思わぬ事故に繋がる恐れがありますので、必ず周囲の安全を確認して作業してください。
- ペグとロープでしっかりとテントを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損する恐れがあります。ご注意ください。
- 足もとのロープやペグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- テント天井部には小物を吊すループが付いています。1kg/1ヶ所を超えない範囲でご使用ください。
- 急な積雪によりフライシートの裾が覆われたり、低温下で水結したときなど、極端に通気性が悪く酸欠になります。こまめに除雪したり入り口を開けるなどして常に換気をしてください。

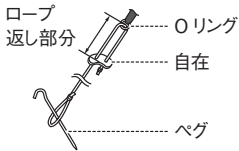
各部の名称



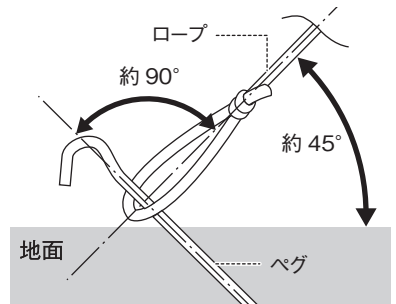
自在付ロープのフライシートへの取り付け、ペグダウンの位置



シングルロープの取り付け



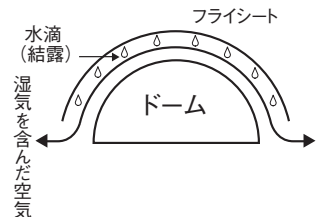
ロープの自在が付いている返し部分がOリング側に
来るように取り付けてください。



ペグダウンはテントからできるだけ遠くに行ってください。設営したとき、ロープの角度が地面に対して約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。

● 結露について

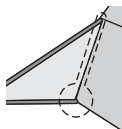
空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特に狭いテント等の空間では、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり結露の発生する確率が高くなります。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となりテント内に結露が発生します。テント内では、特にフライシート・ポトム部分などの防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のために適時換気を行なってください。



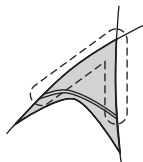
使用前の準備

1. シームグリップ剤による目止め

※本品にシームグリップ剤は付属していません。ご使用の際は、市販のシームグリップ剤をお買い求めください。縫製部分にはシームテープによる防水処理が施されていますが、フライシートのベンチレーター部やファスナー部分、ボトムシートの一部は、製造の都合上または構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨などは十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨、地面に雨水が溜まっているような状態では、縫い目から雨水が侵入することがありますので必要に応じて縫い目にシームグリップ剤(目止め液)を塗布してください。シームグリップ剤は縫い目によって表裏の両面からうすく塗布し、よく乾燥させてください。シームグリップ剤は時間とともに硬化してきます。剥離したときは塗布しなおしてください。また、当社ではシーリング作業サービスは行っておりません。テントをより完璧な状態で使用するためにご協力をお願いいたします。



ボトムのコーナー部すべてにシームグリップ剤を塗布してください。(4カ所)



ベンチレーション部の外と内側にシームグリップ剤を塗布してください。

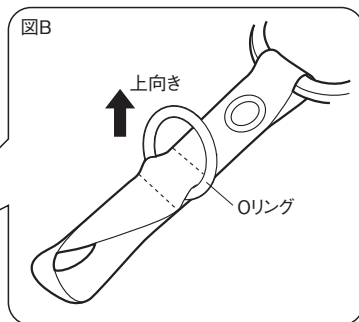
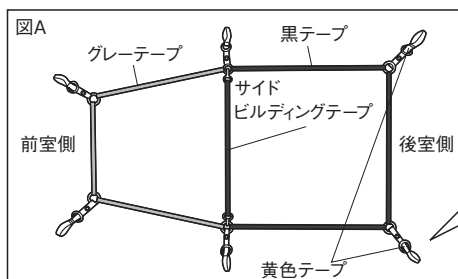


フライシート内側、ベルクロテープの縫い付け部の表と裏側にシームグリップ剤を塗布してください。(8カ所)

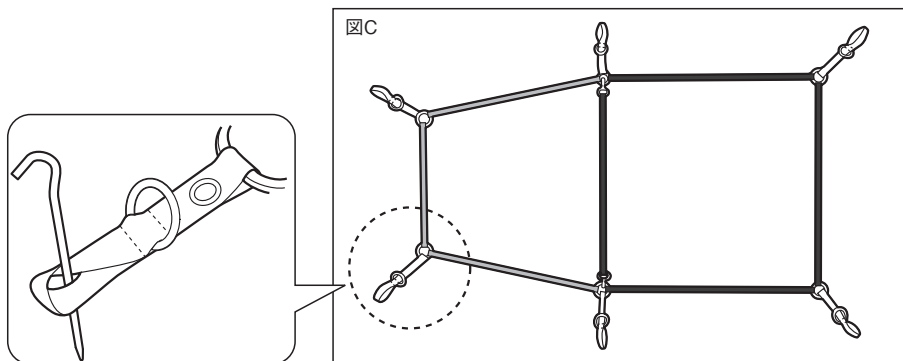
設営の手順

※設営は必ず2人で行ってください。

- 1 ビルディングテープを広げます。〔図A〕
この時、前室／後室の境目に、サイドビルディングテープをフッキングします。各コーナーのペグループ部分に縫い付けられているOリングが上向きになるようにセッティングしてください。〔図B〕
グレーテープ側が前室、黒テープ側がテント本体側になります。
※主に前室側がメインの出入口となります。あらかじめ風雨などの予測をし、前室の方向を決めておくことが必要です。基本的に前室は風下に向けます。風上に向けると、風雨が侵入するばかりかドアを開けた際に突風が入り、本体を破損する場合があります。
※テント側が長方形、前室側が台形になることを意識してください。ここで形が崩れると綺麗に張れません。



- ② ビルディングテープに弛みが生じないように、ベグダウンループにベグを通し、打ち込みます。〔図C〕

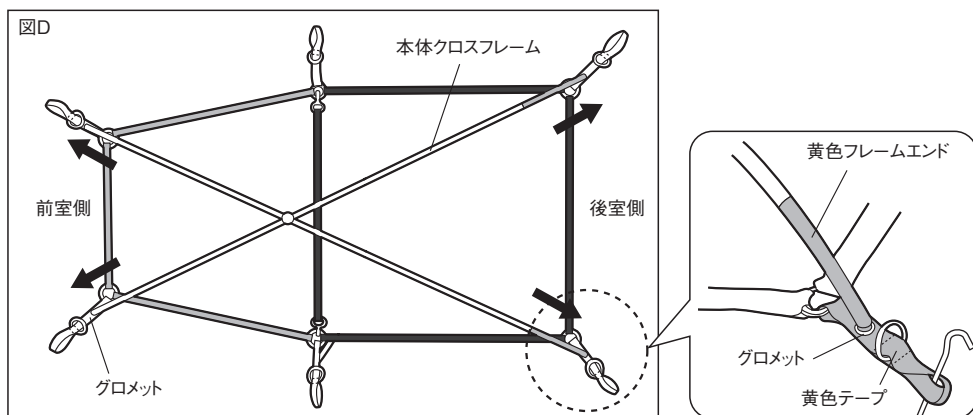


※形状に歪みがないか確認してください。フレームを差し込んだ後にベグダウン位置を調整するとフレームが外れて跳ね返ることが有り危険です。

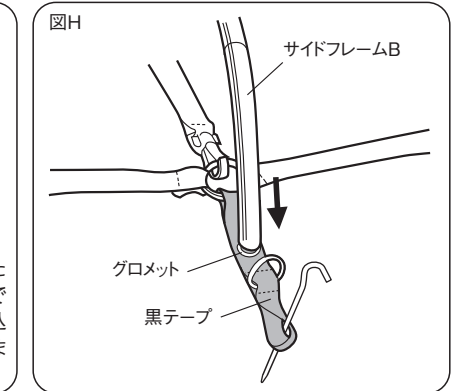
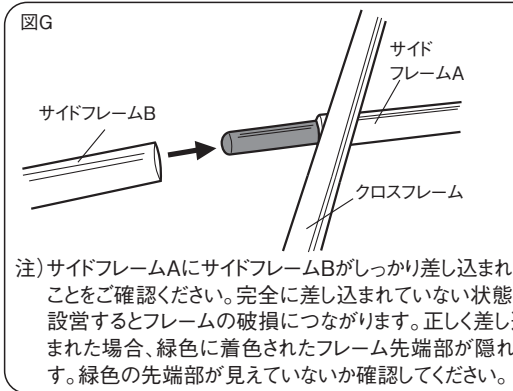
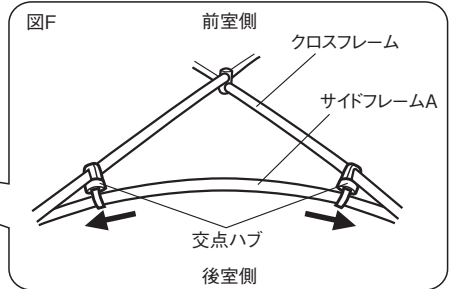
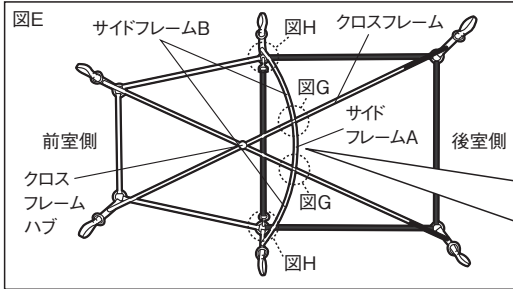
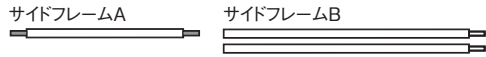
- ③ 本体クロスフレーム、サイドフレームA、Bを伸ばし、接続部分をしっかりと連結します。
※フレームの連結部分にすぎ間ができないように、しっかりと差し込んでください。



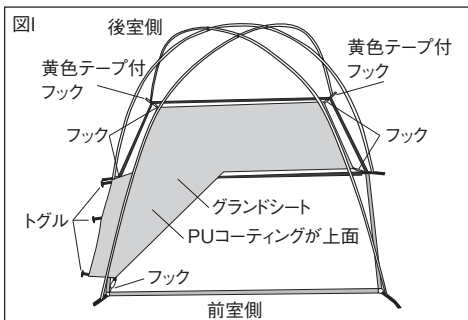
- ④ 本体クロスフレームをビルディングテープ四隅のグロメットに差し込みます。黄色のテープに黄色のフレームエンドを差し込みます。〔図D〕



- ⑤ サイドフレームを取り付けます。〔図E〕〈b～cの作業は片方ずつ行います。〉
- サイドフレームAの両端をクロスフレーム中間にある交点ハブに差し込みます。〔図F〕
 - サイドフレームBを交点ハブに取り付けたサイドフレームAに連結します。〔図G〕
 - サイドフレームBの端部を、前室／後室の中間にあるビルディングテープエンドのグロメットに差し込みます。〔図H〕

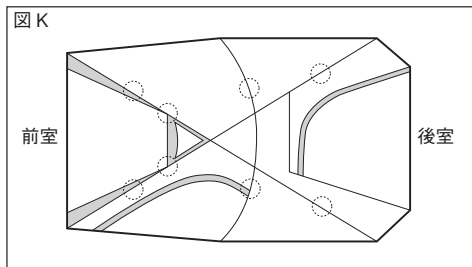


- ⑥ 黄色テープのある後室側の長方形の枠にグランドシートを取り付けます。〔図I〕
- グランドシートをPUコーティング面(てかりのある面)が上になるように敷いてください。グランドシートのフックをビルディングテープの5箇所リングに取り付けます。前室グランドシートは、フライシートを被せた後に、三角形部のトグルをフライシートの3箇所ループに接続します。〔図J〕



※下記7)→8)→9)の設営手順は、9)→7)→8)の手順でも可能です。収納時も同様にインナーテント、フライシートどちらからの収納も可能です。

- 7) 前室・後室の方向を確認しフライシートを被せます。
フライシートの内側についている、ずれ防止のベルクロテープをフレームに巻き付けて固定します。〔図K〕

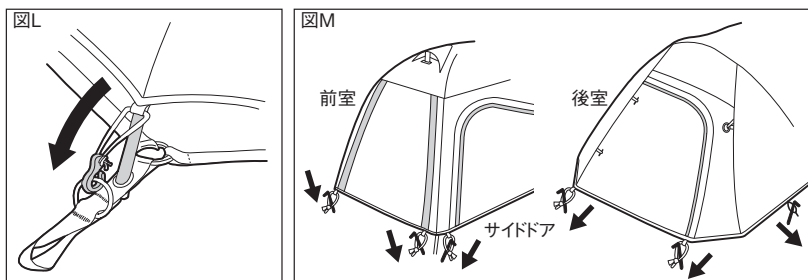


- 8) フライシート裾の6個のフックをベグダウンループに付いているOリング6箇所につけ掛けます。〔図L〕
※ビルディングテープをつないでいるリングに引っ掛けるとフライにテンションが掛かりづらくなるのでご注意ください。

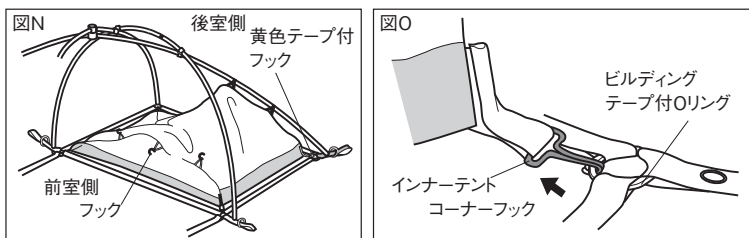
前室・後室・サイドドア下部のゴムループを引きベグを通し、打ち込みます。〔図M〕

※特にジッパー下部分のゴムループは必ずベグダウンしてください。ジッパーが開きにくくなり、フラップ部にスライダーが噛みやすくなります。

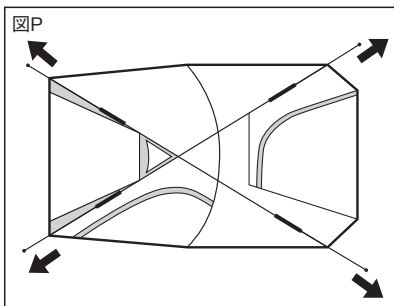
※引きすぎにご注意ください。引きすぎますと、ファスナーに負担がかかり破損する恐れがあります。



- 9) インナーテントを吊り下げます。〔図N〕
a) インナーテントの前後を確認し、ビルディングテープ内部に広げます。
※インナーテントは前後に出入口がありますが、黄色テープがあるパネルが、後室側になります。
b) インナーテントボトム四隅にあるコーナーフックを、ビルディングテープ付Oリングに引っ掛けます。〔図O〕
c) インナーテントに縫い付けられているフックを本体フレーム、サイドフレームそれぞれに掛けていきます。〔図N〕



- ⑩ 各張り網を伸ばし、ペグを打ち込みます。[図P]
 P3の「自在付ロープのフライシートへの取り付け、ペグダウンの位置」の図のように各自自在付ロープをフライシートに取り付けて引き、ペグで固定してからテンションをかけてください。
 ※ロープは引き過ぎますとフライシートに負担がかかり破損する恐れがあります。引き過ぎにご注意ください。

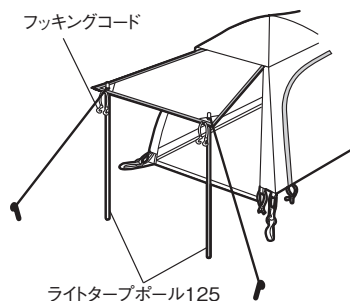


- ⑪ 張り網の自在を引き、テンションをかけます。
 ※引き過ぎにご注意ください。引き過ぎますとフライシートに負担がかかり破損する恐れがあります。

- ⑫ フロントドアパネルを張り出す場合は、付属のフッキングコードをオートバイなどに引っ掛けて立ち上げるか、別売のライトタープポール125×2本セット(TP-161)をご使用ください。

注) 降雨時のドアパネルは、水が溜まりやすくなりますので、ポールを斜めに倒し勾配をつけるなどして、水の逃げ道をつくり溜まらないようにします。

※付属のフッキングコードをオートバイなどに引っ掛ける場合、引っ掛けた対象が倒れないよう、天候や周囲の環境にはご注意ください。予期せぬ事象によりテントが破損したり、引っ掛けた対象が破損しても弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

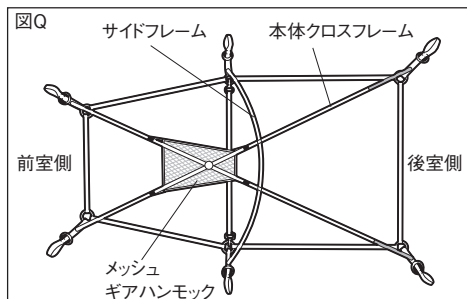


付属品に関して

メッシュギアハンモック [図Q]

本体クロスフレーム中心部分にメッシュギアハンモック四隅のフックを掛けます。

※四隅のゴム紐を強く引いたり、メッシュ部分に過度の重さを掛けますと破損の原因になりますのでご注意ください。



撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
 - 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
 - インナールームを取り付けた場合や、別のテント/タープ等を併用していた場合は、必ずインナールームや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
 - テントの中に何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
 - メインポールは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
 - ベグはすべて抜き、汚れを落としてベグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。むき出しの状態で収納すると、本体生地やキャリーバッグ等を傷付けることがあります。
- ※フレームをグロメットからはずす際は、必ず手でフレームをつかんでください。フレームが跳ね上がり大変危険です。

撥水・防水性能について

- 本製品のフライシートの生地には撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- ボトムにはPUコーティングを施してありますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農業などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

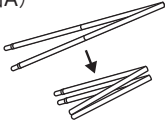
- テントの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起しますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

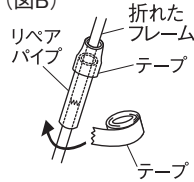
- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 本製品はポリエステル生地を組み合わせで使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食したり、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。(図A)
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングが一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。

- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次回の使用に備え、ロープやペグなどの付属品も含め、上記の通り十分に保守、点検をしてください。
- 使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかに付属のリペアパイプをあて、ビニールテープで固定するか、撤収をしてください。(図B)

(図A)



(図B)



品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

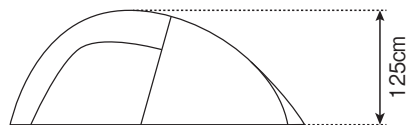
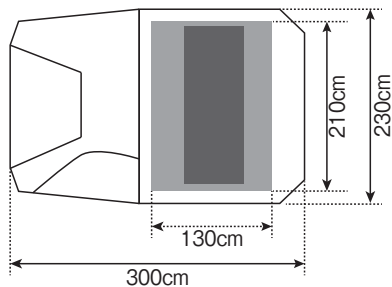
修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 1. 保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 2. 保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

- 材質：フライシート／75Dポリエステルリップストップ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・テフロン撥水加工・UVカット加工、インナーウォール／68Dポリエステルリップストップ、ボトム／300Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧10,000mmミニマム、グラウンドシート／210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、フレーム／ジュラルミンA7001(Φ10.2mm)
- 収納サイズ：キャリーバッグサイズ／59×17×21(h)cm
- 重量：4.9kg

○対応人数 1名



(室内高110cm)

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

 **0120-010-660** (9:00~17:00)

Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel.0256-46-5858 / Fax.0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA

Instruction Manual : Ver 1.00

SD-651 / SD-651-IV

65th Anniversary Trail Tripper 1 Pro. in Gray / Ivory



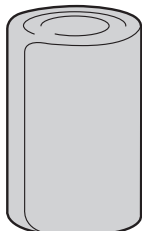
65th Anniversary Trail Tripper 1 Pro. in Gray



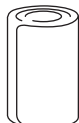
65th Anniversary Trail Tripper 1 Pro. in Ivory

Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is a tent for camping. For safety, read the following instruction manual before use. Please keep it safe for future reference. Finally, if you find anything that you do not understand in the description or any problems with the product, please stop use immediately and contact the retailer or Snow Peak Customer Service.

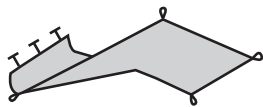
Set Contents * Check that all accessories are supplied, prior to use.



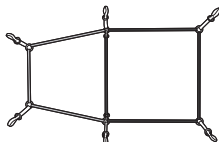
Fly Sheet



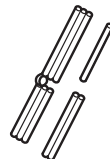
Inner Tent



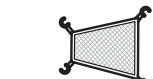
Ground sheet



Building Tape



Cross Frame x 1
Side Frame A x 1
Side Frame B x 2



Mesh Gear Hammock x 1



Duralumin Pegs (17cm x 16)



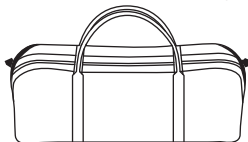
Flexible Rope (2m x 4)



Seam Grip Agent x 1



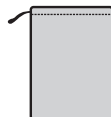
Repair Pipe x 1



Storage Case



Frame Case x 1



Peg Case x 1



Instruction manual x 1

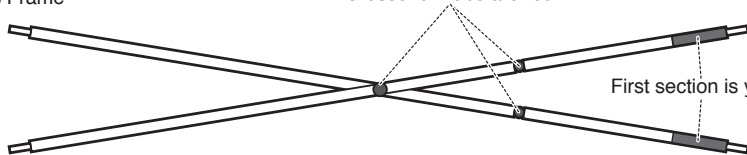
Contents are based on setup in average conditions. If you bring a sturdy, long peg or a spare rope, you can be flexible for various conditions. Always carry a spare as the peg, rope, and rope stoppers are consumable items that wear out over time.

* The cross frame is partially bent to aid in assembly.

Frames

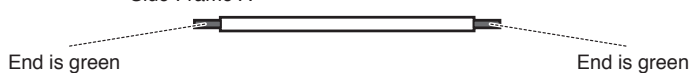
Cross Frame

Crossover hubs are red



First section is yellow

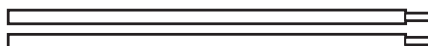
Side Frame A



End is green

Side Frame B

End is green



Safety Precautions Before use please read thoroughly to ensure safety and to avoid accidents.

⚠ DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- The tent's material is not flame-proof. Therefore, do not use combustion-based heat sources such as lanterns, stoves, heaters, or open flames such as matches, candles, lighters, or cigarettes inside the tent. The use of such heat or light sources inside a small enclosed space is dangerous and may result in fire, oxygen deficiency, or carbon monoxide poisoning.
- Do not keep fuel or flammable items for replenishing the fuel inside the tent.



⚠ WARNING Misuse could result in serious injury or death.

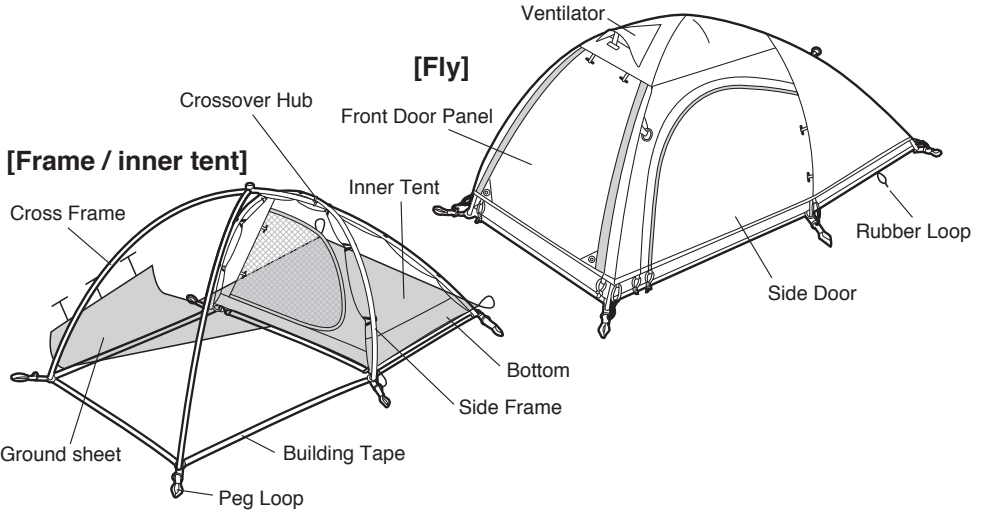
- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Pay close attention to the weather. If extreme weather is in the forecast, pack up camp and evacuate to a safe place.
- Do not bring heated items into the tent when they are at high temperatures. Very high temperatures inside of the tent may cause fire or heatstroke.
- Hot weather will cause high temperatures in the tent, leading to a higher risk of heatstroke. Pay close attention to temperatures, particularly when children are asleep inside the tent.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the tent. The area should have no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.



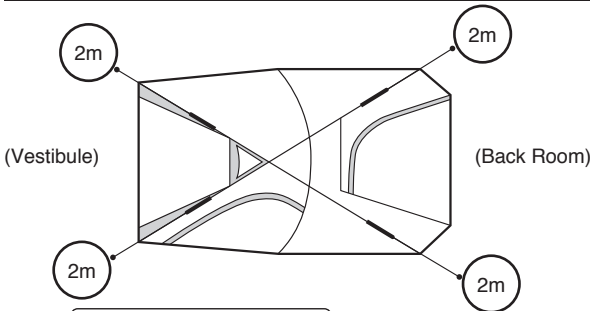
⚠ CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product is not intended to be in permanent use, as it may fade or deteriorate if exposed to sunlight over a long period of time.
- Sunlight can cause the surface of the fly to heat up, potentially causing low-temperature burns.
- Flying sparks can create holes in the tent fabric. Do not assemble or use the tent close to a bonfire, fireworks, or areas where a fire is present. When setting up and disassembling, make sure there is no fire around.
- Sap cannot be removed easily once it dries. Please avoid setting up under trees where sap is likely to drip. Please do not use organic solvents such as thinner or benzene to remove the sap, as they will damage the fabric and its coating.
- Firmly hold the tent pole when assembling and disassembling the tent. Pole ends recoiling may lead to unexpected accidents, so ensure that the surroundings are safe with no bystanders in the vicinity.
- Secure the tent firmly with pegs and ropes.
- It is made of thin fabric, so it may break if you pull the fabric too much. Please be careful.
- Watch your feet when utilizing the rope and peg. It may offset your balance and cause an unexpected accident.
- There are loops attached to the ceiling of the tent. These can be used for hanging small articles. Do not hang anything exceeding 1 kg from a loop.
- If snow accumulates suddenly, the bottom end of the fly sheet could become covered or frozen in low temperature, which can severely worsen ventilation and result in oxygen deficiency. Keep the inside ventilated by removing snow or opening the entrance every now and then.

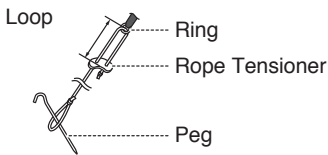
Name of the Parts



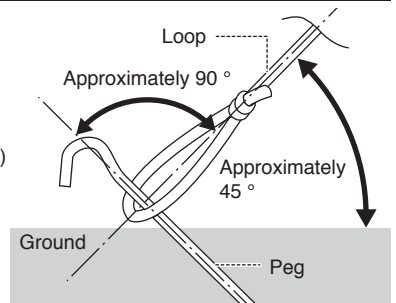
How to attach Rope with Rope Tensioner on the Fly and Peg-down position



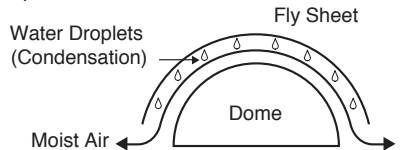
How to attach a single rope



Attach the rope so that the loop with the rope tensioner comes to the o-ring side.



Peg down as far away from the tent as possible. When set up, the angle of the rope should be about 45° to the ground, which is the ideal peg-down position. Also, please pull down the peg so that the angle to drive the peg is 90° to the rope.



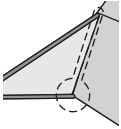
● Condensation

A collection of water droplets suspended in the air turn into mist and form condensation in rapidly falling temperatures. The concentration of water vapor is higher in smaller spaces (such as the inside of a tent) than in an ordinary room and frequently results in more condensation. Water accounts for 60 percent of the human body and is released through breathing and perspiration. This also causes the amount of water vapor in the tent to increase, resulting in more condensation. Inside a tent, condensation can commonly be found on materials that are highly waterproof, such as the fly sheet or the bottom. It is impossible to avoid condensation completely, even with the use of high-quality permeable waterproof materials. To reduce condensation, it is recommended to constantly ventilate the tent.

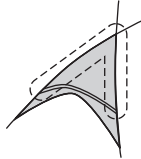
Preparations Before Use

1. Sealing with Seam Sealer

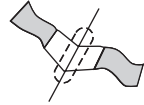
*Seam sealer is not included in this product. When using, please purchase seam sealant from local outdoor gear retailer. A waterproofing treatment with seam taping has been applied to the stitching of the tent. However, the ventilator and fasteners on the Fly and a part of the bottom sheet cannot be treated with the seam tape due to their inherent design. Though capable during periods of normal rain, long spells of heavy or driving rain, or prolonged contact with water pools on the ground, may result in the penetration of water along the stitching. In such cases, the application of a seam sealer is recommended. Apply the seam sealer lightly on both sides along the stitching and dry completely. The seam sealer will cure with time. As the seam sealer wears off, re-apply as necessary. We do not provide a sealing service. However, to maintain the tent in its best condition, application of seam sealer by the user is highly recommended.



Apply the Seam Sealer to all corner parts of the Bottom. (4 locations)



Apply the Seam Sealer to the outside and inside of the ventilation area.

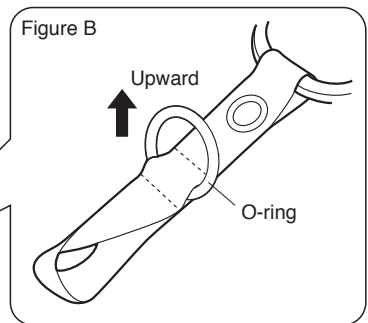
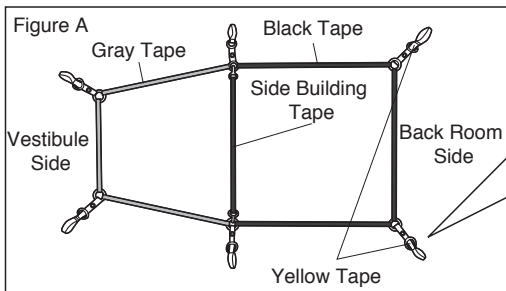


Please apply the Seam Sealer on both surfaces of the Velcro Tape, on the backside of Fly. (8 locations)

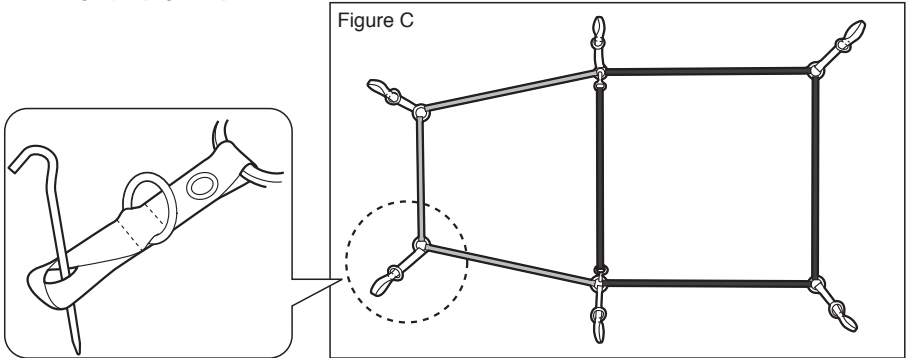
Set-up Procedure

* Make sure that two or more people take part in the setup.

- 1 Spread out the building tape. [Figure A]
 - Hook the side building tape on the border between the vestibule and back room. Ensure that the O-rings sewn to the peg loop area at each corner are facing upward. [Figure B]
 - The gray tape side will be on the vestibule side, and the black tape side will be on the tent side.
 - * The vestibule side is the main entrance. Check the weather forecast for wind and rain when determining the direction of the vestibule. In general, the vestibule should be facing downwind. If the vestibule is facing upwind, not only will it allow entry of wind and rain, but also create a risk of sudden wind coming in when the door is opened, which may result in damage to the main unit.
 - * Note that the tent side will be rectangular, while the vestibule side will form a trapezoid. The shape must be maintained at this point during setup to ensure that the tent is setup properly.

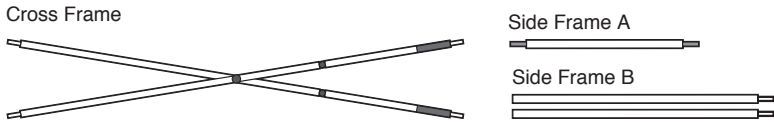


- 2 Pass the peg through the pegging loop and drive it into the ground, ensuring that there is no slack in the building tape. [Figure C]

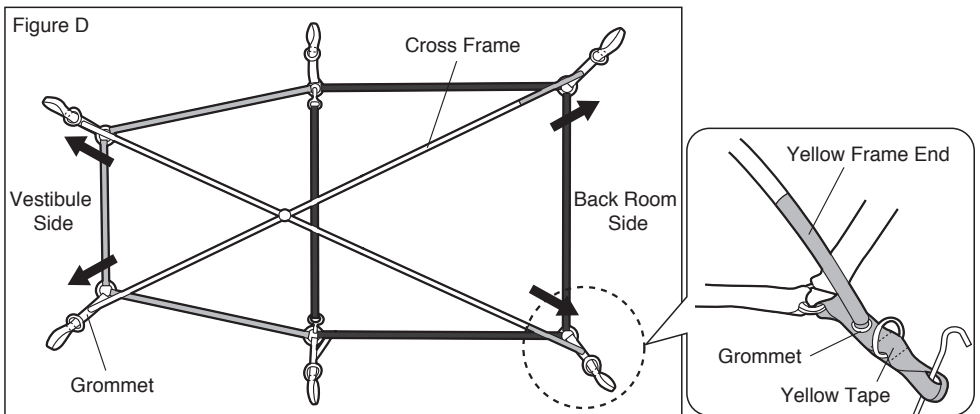


* Check that the shape is correct. Adjusting the peg location after insertion into the frame is dangerous, as the frame could become detached and recoil.

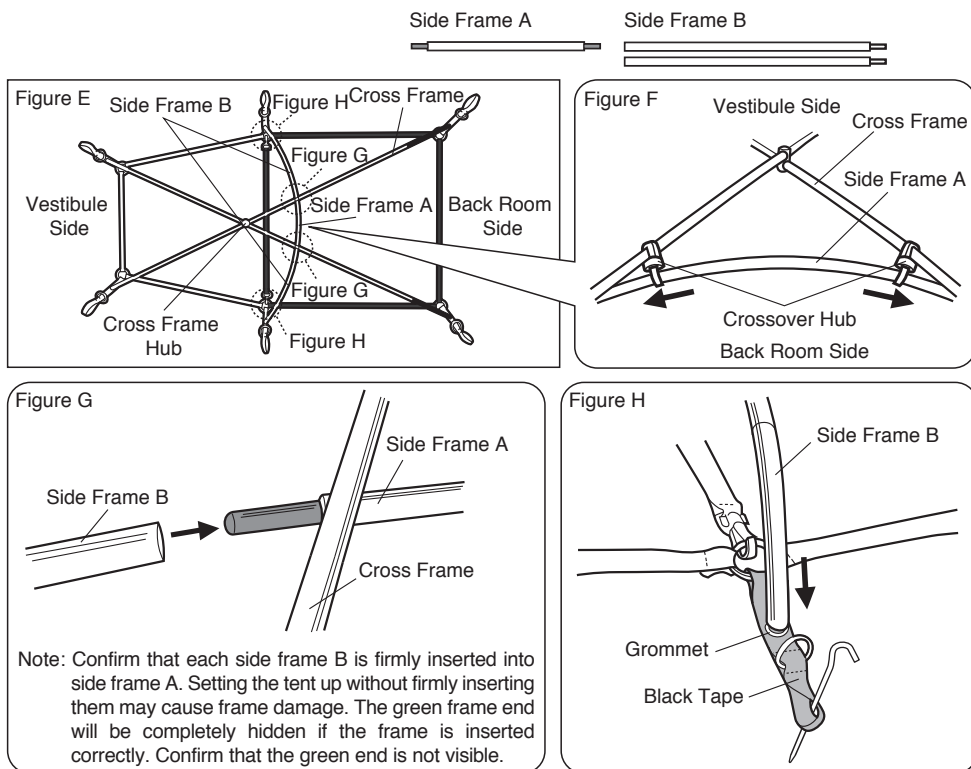
- 3 Extend the cross frame and side frame A and B, and then firmly join the connecting parts.
* Firmly insert the frames so that no gap is present in the connecting parts of the frames.



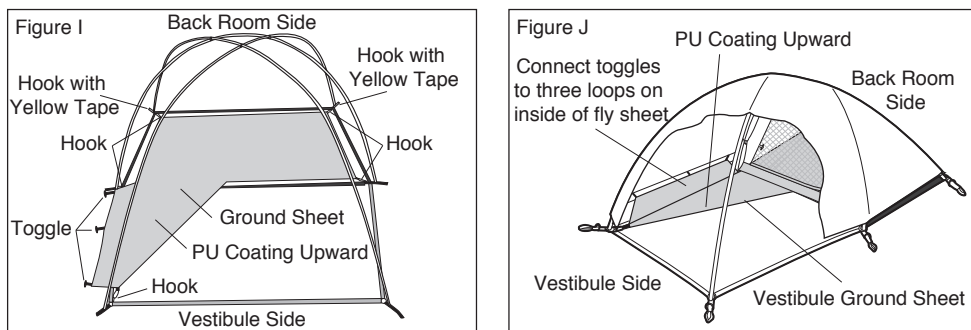
- 4 Insert the cross frame into the grommets on the four corners of the building tape. Insert the yellow ends of the frame into the yellow tape. [Figure D]



- 5 Attach the side frames. [Figure E] (Carry out steps b to c one side at a time.)
- Insert both ends of side frame A into the crossover hubs in the center of the cross frame. [Figure F]
 - After attaching side frame A to the crossover hubs, connect each side frame B to side frame A. [Figure G]
 - Insert the end of each side frame B into the grommets on the building tape in between the vestibule and back room. [Figure H]

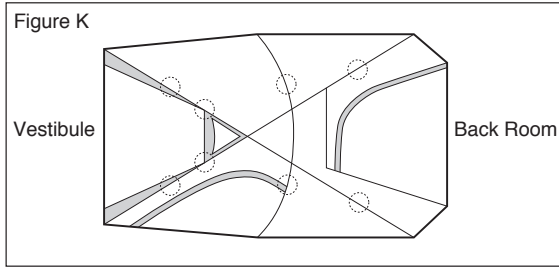


- 6 Attach the ground sheet to the rectangular area on the back room side (indicated with yellow tape). [Figure I]
- Attach the hooks on the ground sheet to the five O-rings on the building tape. For the vestibule ground sheet, connect the toggles in the triangular area to the three loops on the fly sheet, after attaching the fly sheet. [Figure J]

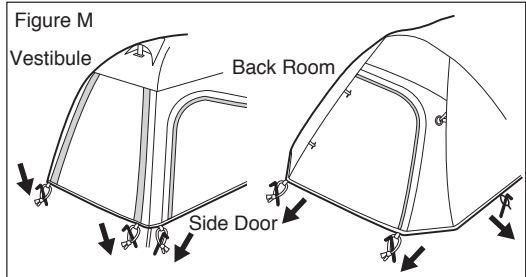
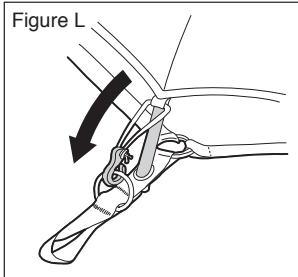


* Steps 7, 8, and 9 can also be done in the following order: 9, 7, then 8. When storing, either the inner tent or fly sheet can be stored first.

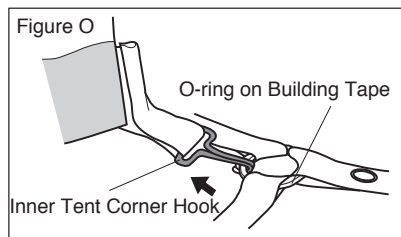
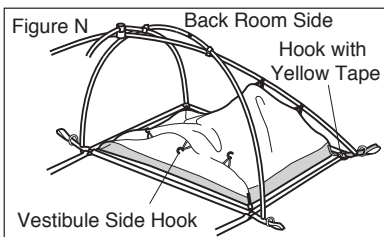
- 7 Confirm the direction of the vestibule and back room, and then attach the fly sheet. Wrap the slip-prevention Velcro tape attached to the inside of the fly sheet to the frame to secure it in place. [Figure K]



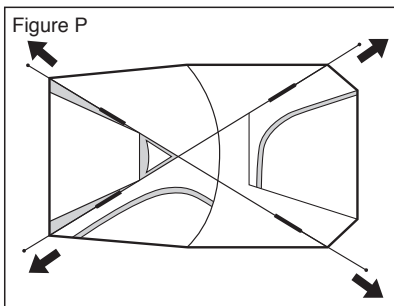
- 8 Attach the six hooks on the bottom end of the fly sheet to the six O-rings attached to the pegging loops. [Figure L]
 * Note that attaching the hooks to the rings connected to the building tape will make it difficult to apply tension to the fly sheet.
 Pull the rubber loops on the bottom of the vestibule, back room, and side door, pass the pegs through them, and then drive the pegs into the ground. [Figure M]
 * Ensure that the rubber loop on the bottom of the zipper is pegged down. Otherwise, it could become difficult to unzip the zipper, or the zipper could get caught on the flap.
 * Be careful not to pull too much. Pulling too much could apply excessive force to the zipper, damaging it.



- 9 Suspend the inner tent. [Figure N]
 a) Confirm the front and rear sides of the inner tent, and then spread it within the building tape.
 * Although there is an entrance at both the front and rear of the inner tent, the panel with yellow tape is the back room side.
 b) Attach the corner hooks on the bottom corners of the inner tent to the O-rings on the building tape. [Figure O]
 c) Attach the hooks sewn into the inner tent to the frame and side frames. [Figure N]



- 10 Extend the guy lines and then peg them down. [Figure P]
 As shown in "How to attach Rope with Rope Tensioner on the Fly and Peg-down position" on page 15, attach each rope with a rope tensioner to the fly sheet. Then, pull each rope, peg it down, and then adjust the tension.
 * Pulling a rope too much could apply excessive force to the zipper, damaging it. Be careful not to pull too much.



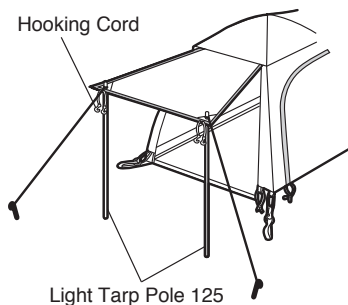
- 11 Pull the tensioner on the guy lines to apply tension.
 * Be careful not to pull too much. Pulling too much could apply excessive force to the fly sheet, damaging it.

- 12 To push out the front door panel, attach the supplied hooking cords to a motorcycle or other solid object, or use the separately sold Light Tarp Pole 125 (Set of 2) (TP-161).

Note: Water can easily gather around the door panel during rainfall.

Create a slope by laying a pole down at an angle or otherwise create some means for water to drain away from the tent.

- * When attaching the supplied hooking cords to a motorcycle or other solid object, remain aware of the weather and surrounding environment, so that the object does not tip over. Snow Peak is not responsible for any damage to the tent or any attached objects. Please note this beforehand.

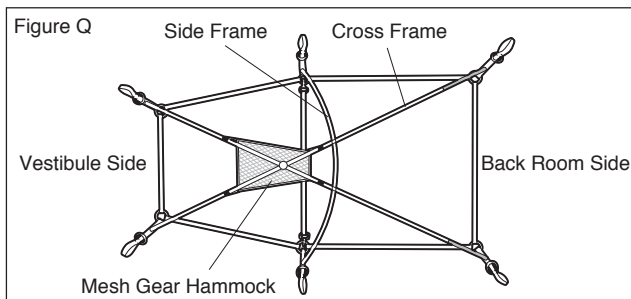


Accessories

Mesh gear hammock [Figure Q]

Attach the hooks on the four corners of the mesh gear hammock to the center of the cross frame.

- * Note that pulling the rubber strings on the four corners too strongly or applying excessive weight to the mesh section may cause damage.



Precautions for Disassembly and Storage

- Please make sure that the product is sufficiently dry before storing it.
 - If the wind is strong, wait for it to subside before disassembling the shelter.
 - If you have attached an inner room, be sure to remove the inner room or any other products from the shelter before disassembling it.
 - Before taking the tent down, confirm that there is nothing remaining in the tent and that all panel and window zippers have been zipped up.
 - Please fold the main poles from the center each time. If you fold the main poles from the edges, the shock cord inside the pole may stretch or break, causing the frame to bend or break.
 - Remove all pegs, clean them, and store them in the peg case with their heads facing down. Store all frames in the frame case. The frame should be stored with its head facing down in the frame case. If the frame is exposed, it may damage the fabric or the carry bag.
- * When removing the Pole from the grommet, be sure to grasp the Pole with your hand. If not, the Pole will jump up, and is very dangerous.

Water-Repellent and Waterproof Functions

- The Fly of this product is treated with a high-quality, water-repellent finish. However, the level of water-repellent capacity and durability may vary slightly due to the characteristics of each material. The water-repellent finish will lose effectiveness after repeated use. When the water repellence decreases, please use a water-repellent spray purchased from your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.
- Materials with high waterproof capacity are used in this product. However, if the materials are in contact with pools of water on the ground for long periods, the water may be absorbed into the material, potentially resulting in discoloration.
- Agricultural chemicals may damage the PU coating and decrease the water-proof capacity. If this is the case, it will be beyond our guarantee.
- It is possible that some water-repellent sprays may cause the logo and other markings to peel-off.

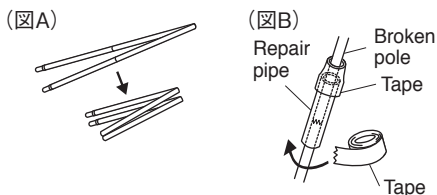
Regarding the Effect of Ultraviolet Rays

- When the tent material is exposed to sunlight for long periods, color degradation or strength deterioration may occur. Do not leave the product assembled permanently.
- If the material deteriorates due to ultraviolet rays and is badly damaged, it may become irreparable.

Maintenance & Storage

- Before using a product that has been in storage for a long time, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the retailer or contact Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- A combination of Polyester fabric is used for this product. Taking the material characteristics into consideration, we adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, depending on storage conditions, slight color migration may occur. Do not store the product while it is wet.
- Before storage, the product should be cleaned and dried sufficiently. If the product is stored when wet, the build-up of mold, bad odors, color migration and material deterioration will occur. Dry the product sufficiently in a breezy and shaded area and clean the surface with a soft brush before storing.
- Clean and dry the surface of the Poles before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant; applying an excessive amount of lubricant will stain the cloth. Ensure that the cords inside the Poles are not pulled unnecessarily.
- Fold the Pole from the center to the edges. (Figure A)
- Store the product in a well-ventilated area, away from heat and moisture.
- Using the zipper when it is covered with mud, sand or dust may cause wear or damage. Clean the zipper with a brush before use. Apply small amounts of silicone lubricant to the zipper regularly to allow for smooth movement. Do not apply excessive amounts of lubricant as it will leave stains on the cloth.
- Slight damage to the cloth can be mended with repair tape that can be purchased from your local outdoor gear retailer. Refer to the product instructions for the correct use of such repair tape.
- Depending on the conditions during use, the tent material may deteriorate over a wide area, losing its durability and becoming irreparable.

- Seam tape is attached at a temperature which does not damage the PU coating but with repeated use may peel off the PU coating. If you find the PU coating is peeling off, use an iron at low temperature to apply the PU coating again. If the iron is too hot, it may discolor the cloth and cause material to deteriorate sooner. Do not peel off the seam tape forcibly. If PU coating is peeled off, it may become beyond repair.
- If tree sap comes into contact with the product, it can't be cleaned off. Refrain from setting up the product under trees with sap. The materials and/or the coating of the materials may be damaged if tree sap is removed using a solvent.
- For future use, regularly inspect and maintain the product including the accessories such as the pegs. If a pole is broken while the tent is in use, for an emergency treatment, use a repair pipe and secure with vinyl tape. Or fully disassemble the tent for repair. (Figure B)



Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following:

1. Material deterioration caused by age.
2. Damage caused by modifications or rough handling.
3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual.
4. Damage caused by unexpected accidents.
5. Any damage other than defects in the manufacturing process.
6. Damage caused by dust or rust.
7. Damage and defects caused by dismantling the product.
8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks.
9. Deterioration or failure of parts due to friction.
10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products.

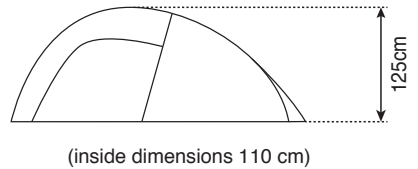
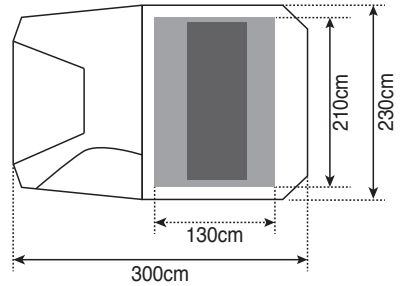
Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Specifications

- Material: Fly Sheet: 75D Polyester Ripstop, PU Coating 1,800mm, Teflon Water Repellent, UV Cut Processing, Inner Tent: 68D Polyester Ripstop, Bottom: 300D Polyester Ox, PU Coating 10,000mm, Ground sheet: 210D Polyester Ox, PU Coating 1,800mm, Poles: Duralumin A7001(Φ10.2mm)
- Carry Bag size: 59×17×21(h)cm(23.5×7×8.5")
- Weight: 4.9kg(10.8lbs)

- Capacity: 1 person



Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 (503) 461-0781 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA